

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	平成 3 0 年度 横山ダム非常用放流設備予備設計業務
業 務 概 要	非常用放流設備予備設計 1 式 副ダム改良設計 1 式 非常用水位低下設備閉塞設計 1 式
契 約 担 当 官 等 の 氏 名 並 び に 所 属 称 及 び 部 所 在 地	分任支出負担行為担当官木曾川上流河川事務所長 堀 与志郎 岐阜市忠節町 5 丁目 1 番地
契 約 年 月 日	平成 3 0 年 9 月 7 日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所 中部支社
契 約 業 者 の 住 所	名古屋市中区錦 1 - 5 - 1 3
契 約 金 額	3 0, 2 2 9, 2 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	3 0, 9 6 3, 6 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	(1) 簡易公募型プロポーザル方式 (2) 本業務は、横山ダムの非常用放流設備の予備設計を行い、同設備の更新に資するものある。 上記業者は企画提案書の提出のあった唯一の者であり、企業及び配置予定管理技術者の実績・信頼度、業務の実施方針・実施体制、特定テーマに対する提案、ヒアリング結果について総合的に評価を行った結果、求める業務内容等に合致し優れていることから特定したものである。 (3) 適用法令 会計法第 2 9 条の 3 第 4 項 予算決算及び会計令第 1 0 2 条の 4 第 3 項
業 務 場 所	
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	平成 3 0 年 9 月 8 日
履 行 期 間 (至)	平成 3 1 年 2 月 2 8 日
備 考	

1. 件名 平成30年度 横山ダム非常用放流設備予備設計業務

特定テーマ1: ダム用水門設備の更新手法に関する提案について

[illegible]